

事業所における自己評価総括表

事業所名	おもちゃ箱こだいら			
保護者評価実施期間	2025年 1月 16日		～	2025年 2月 28日
保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	25
従業者評価実施期間	2025年 1月 16日		～	2025年 2月 28日
従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	13
事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強みだと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの主体的行動が自信となり、自己肯定感が高まる場となるよう心がけている。	子どもの考えを尊重し、些細なことにも能動的行動が自信につながる機会を多く作っています。	専門職（理学療法士・強度行動障害研修修了者）を配置していることから、専門的視点に立った質の高い療育を目指す。
2	重症心身障害児と重心外の子ども達が共に行う集団活動を通して、様々な特性を持つ仲間との関りを学ぶ場を作っている。	子ども達が一緒に活動する心地良さを見つけ、子ども同士がお互いに助け合う、認め合う、高め合うことを学ぶ場を提供しています。	重症心身障害児と重心外の子ども達が共に過ごすプログラムを工夫し、その機会を増やしていきます。
3	今後の進路に向けて、個々のご家族の状況を踏まえた情報の提供とサポートを行っている。	今後の進路に向けて本人の意志と家族の意向を勘案できる相談支援と状況に応じた準備支援を行っています。	相談支援センター、学校の話と直接聞く機会を設けます。

	事業所の弱みだと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	みんなで同時に同じ一つの活動を楽しむことが難しい。	子どもの特性やこだわりを尊重し過ぎ、活動中の自由度が高い。	個々の子どもの症状や能力を十分踏まえ、保護者さまとの了承を得ながら無理のない範囲で、「能動的行動」と節度をわきまえた「分別ある行動」のステップアップを図る。
2	利用日数の追加希望、新たなご利用希望の声に十分お応えしているとは必ずしもいえない。	高学年のご利用者で満席が続き、低学年の新規のご利用枠が確保できていない。	他の事業所（おもちゃ箱しんこがねい、おもちゃ箱なかまち、おもちゃ箱こがねい、おもちゃ箱上水桜）と連携できるように運営体制の改善を図る。
3			